
キマグレ

橘

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

キマグレ

【Nコード】

N6106X

【作者名】

橘

【あらすじ】

暇潰しにでも、読んでいただけたら、嬉しいです。

ちなみに、恋愛とかが多く、全てわたしの感じたことや体験したことがもととなっています。

詩と言えるかどうか、分らないですが、わたしなりの文章で書いていきます。

そこはご了承ください。

One メールって

こんなに、ドキドキするの？

送信…そう書かれたボタンを押すのに、何分かったか。

これを送ったら、君はどう想うのかな？

メールを見ながら、貴方を想う。

貴方の素っ気無いメールは、わたしの心…奥深くに届くの。
何度も何度も見返して。

夢じゃないって確認するの。

貴方の笑顔が思い浮かんで、涙が止まらなくなつて。
わたし、どうにかなっちゃうのかな。

大好きって。

愛してるって。

伝えるの、もうちょっと待ってもいいかな。

君から、好きだって言ってほしいよ…

何でもいいから、友達としてでも、何としてでもいいから。

好きって言ってよ…

T W O 向日葵のコトバ

輝く太陽。

それは君でしょう？

だって、君を追いかける向日葵はあたしなんだもん。

どんなに、どんなに、追いかけても。

君は遠すぎるの。

どんなに、どんなに、綺麗に咲いても。

君に見つけて貰えないの。

小さいってやだな。

君の瞳に、あたしの姿が映ることは、ないんだね。
君を想う心は、誰にも負けないっていうのに。

世界は、暗くて、何も見えないの。

君がいなきゃ、世界は、消えてしまうの。
あたしも、この場所も。

ねえ、どこにも行かないで。

君の瞳に、あたしの姿が映らなくてもいいよ。

君に見つけて貰えなくてもいいよ。

その代わり、ずっとここにいてよ。

君がいない世界なんて

Three 消滅

人はいつか消える。

消えて、何になるのだろうか。

魂は、何処へ行くのだろうか。

私たちは、何のために生きる。

何故、生きている。

何故、生まれる。

ただ、ただ、目標もなしに、生きる私たちの価値。

神様に決められた、日々を送る人間。

神様は自分勝手だ。

人は、決められた時間に、決められた場所で死ぬ。

神様に選ばれた人間のみが、天国へ旅立つチケットを手に入れることができるのだ。

人類は、消えていく。

それもまた、神様の決めた運命。

Four ナミダ

雨のように、降る。

貴方の涙は、わたしの天敵。

見ているだけなのに。
わたし、別に悲しくなんてないはずなのに。

涙が、トマラナイ…

貴方が愛した人が消えた。

胸が…こんなにも苦しい。

神様、何故彼の愛した人を消したのですか。

涙が…こんなにも痛い。

貴方の涙が、わたしの心に伝う。

涙は、トゲがあつて、凍る様に冷たい。

痛い痛い…イタイ……

ヤメテ、モウイヤダヨ……

雨とともに、涙は溢れて、零れていく。

何で好きになっちゃったんだろう。

貴方もわたしも。

F i v e 嘔吐き

ずっと、貴方を想ってたはずだったの。

ずっとずっと、大好きだった。

ちゃんと、貴方に、

わたしの気持ちを、言葉にして伝えたかった。

ただ、「好き」と伝える。

それが、わたしには出来なかった。

わたしは、大切な時に限って、何も伝えられない。

ワタシハ、ヨウムシダ。

貴方のことを、想ってたはずだったのに。

今のわたしは、貴方のこと想うどころか、嫌ってる。

貴方を見ると、胸が苦しくて、吐き気がして。

何故か分からないの。

やっぱり、わたしの気持ちは、嘘だったの？

好き、そう想ってたのは、

何だったんだろう。

ワタシハ、ウソツキ？

S i x 記憶

好きかも。

なんて、わたし信じてなかった。

信じたら、自分が壊れてしまいそうぞ。

でも、やっぱりわたしは。

君が好きなの。

止まらないの。

涙がずっと…溢れて。

鎖に縛られてるみたいに、

ずっと...ずっと...

わたし、どうしたらいいんだろう。

しんどい。

苦しい。

何で、こんなにも。

好きになっちゃったんだろう。

好きになること、それ自体が間違いだったんだ。

好きだって、伝えたら。

楽になれるかなあ。

どうしたら、この苦しいのが…

なくなるの？

わたしが、どんどんコワレテク…

スキナノニ…

キミガスキナノニ…

コ
ジ
イ
...

S e v e n 君とわたし（前書き）

歌詞っぽくしてみたよ笑

S e v e n 君とわたし

今日も 隣に君がいて
今日も 隣で笑い合う

この幸せがずっと続けばいいなんて
想っているのは きつとわたしだけ
この時間をずっと独り占めしたいって
想っているのは きつとわたしだけ

だって 君は違うでしょ？

君が見るのは わたしじゃなくて
君が想うのも わたしじゃなくて
それでも 君が好きだから
思い出の隙間にね ちょこつとだけさ
わたしがいたら 良いのにな
なんて想っちゃう

わたしって バカだなんて思うの

昨日は 笑い合ったけど
今日も 笑えるのかな？

こんなに心配ばっかしてるのに
君はわたしを見てくれないね
こんなに想っていたとしても

君はわたしを愛してくれない

だって 君は誰かを見てる

好きと言うのは 君じゃなくて

愛してるなんて 言えなくて

それでも 忘れられないから

記憶の隅っこにね ちよこっただけ

入れて貰えないかな？

なんて言ってみたの

君に 好き そう言っただけから

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6106x/>

キマグレ

2011年11月17日13時28分発行